

## 公園緑地

都市部にある1ha以上の面積の公園緑地としては、西河原公園や耳原公園、元茨木川緑地などがあります。

これらの公園緑地では、シジュウカラなどの小鳥類やチョウ類などが見られ、まとまった緑の少ない都市部において、生きものの重要な生息場所や移動経路になっています。また、自然とのふれあいの場としても、重要な役割を果たしています。



### アオスジアゲハ(チョウ目アゲハチョウ科)

- 識別難易度 ★
- 観察難易度 ★
- 観察適期 春 夏 秋 冬
- 特徴

大きさ約3~5cm。黒地のはねに青白い筋が入っている。

#### ■ 生息環境

幼虫は街路樹に多く用いられるクスノキ科の植物を食草とするため、公園緑地などで見かけやすい。



### ニイニイゼミ(カメムシ目セミ科)

- 識別難易度 ★
- 観察難易度 ★★
- 観察適期 春 夏 秋 冬
- 特徴

大きさ約3~4cm。成虫は「チー」と細く鳴き、はねに褐色の斑模様がある。幼虫の抜け殻は全身が泥だらけ。

#### ■ 生息環境

木の皮に似ていて見つけにくい。幼虫は乾燥に弱く、街路樹などで育つことはできない。生息には、木がまとまって生えている湿った土壌が必要。





## コゲラ(キツツキ目キツツキ科)

■ 識別難易度 ★

■ 観察難易度 ★

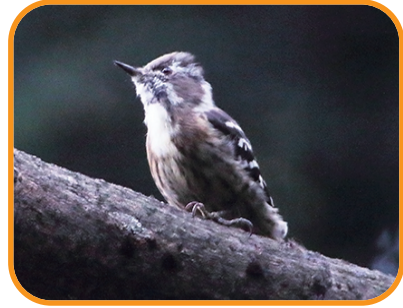
■ 観察適期 春 夏 秋 冬

■ 特徴

スズメほどの大きさ。小型のキツツキ。こげ茶色の背中に白い点模様がある。「ギー」という鳴き声が特徴的。

■ 生息環境

都市に近い緑地でも見られ、主に木につく昆虫やその幼虫を食べる。立ち枯れた木に巣穴を掘る。



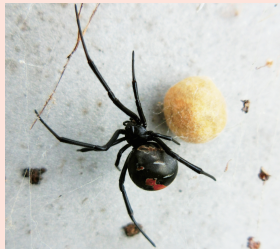
## どうしたらいいの？ 外来種

外来種とは、もともとその地域にいなかった生きもので、人間の活動により他の地域から運び込まれた生きものです。外来種には、もともといた生きものを食べて駆逐してしまうなど、在来の生きものに悪影響を及ぼすほか、人間の生活まで脅かす種もいます。

外来種による被害を予防するには「入れない」「捨てない」「拡げない」の3原則が大切です。もともといなかった生きものが一度入ってしまうと、元の状態に戻すことは難しくなります。そのため、事前の侵入を防ぐことが大切です。また、侵入してしまった外来種に対しては、これ以上拡げないように対処法について一人ひとりが正しく知り、行動する必要があります。



アメリカザリガニ



セアカゴケグモ



オオキンケイギク(写真)  
ナルトサワギク

### 【対処法】

もし飼っても野外へ放さない。

見つけても素手で捕まえず、殺虫剤をかけてください。

根から抜き取り、袋などに入れ、枯れてから処分しましょう。



## シジュウカラ (スズメ目シジュウカラ科)

- 識別難易度 ★
- 観察難易度 ★
- 観察適期 春 夏 秋 冬
- 特徴

スズメほどの大きさ。頭は黒く、頬は白い。のどから腹にかけてネクタイのような黒い線がある。「ツツピーツツピー」と鳴く。

- 生息環境

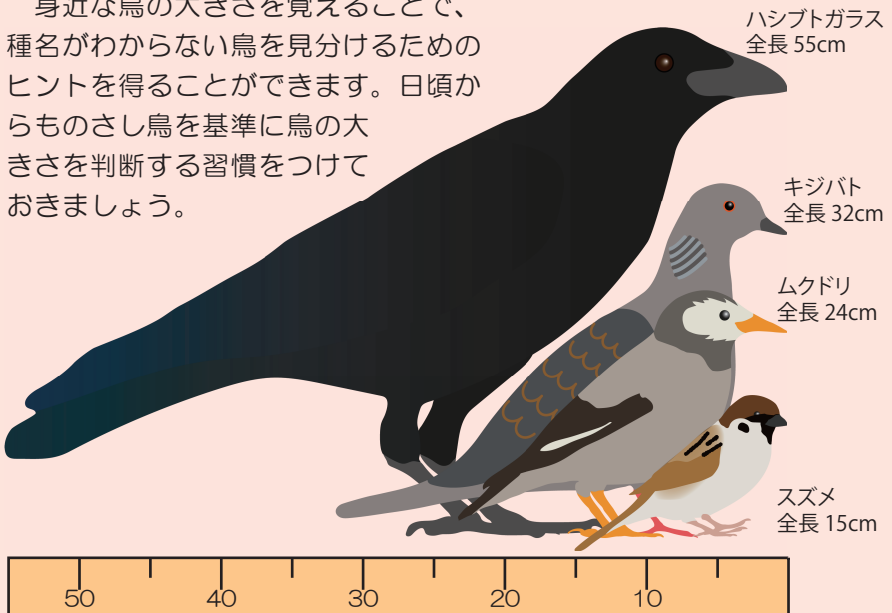
山地から都市の林で見られる。樹木に生息する昆虫を餌とする。使われなくなった人工物などにも巣を作ることがある。



### 鳥を見分けるコツ～ものさし鳥～

ものさし鳥とは、鳥を見分けるときに、大きさの基準となる鳥のことです。一般的に身近な鳥であるスズメ、ムクドリ、キジバト、ハシブトガラスがものさし鳥といわれています。種類がわからない鳥の名前を調べる時に、その鳥がどれくらいの大きさであるかがわかることは、とても大切です。

身近な鳥の大きさを覚えることで、種名がわからない鳥を見分けるためのヒントを得ることができます。日頃からものさし鳥を基準に鳥の大きさを判断する習慣をつけておきましょう。



## フィールドサインを探してみよう！

哺乳類は、警戒心が強く、夜行性のものも多いため、実際にその姿を見る機会は多くありません。しかし、彼らの足跡や糞を手がかりに、生息状況が明らかになります。道端や水たまりの乾いた跡など、動物がいた手がかりを探してみてください。

### キツネ

■足跡 4.5×3.5cm

指跡は4本で中央の2本が前に出て、縦長の形となる。足跡がほぼ一列になる。



■糞 8cm

目立つ場所に1個で落ちていることが多く、ノネズミの毛や歯が含まれていることが多い。



### タヌキ

■足跡 3.5×3.5cm

指跡は4本で全体が丸みを帯びる。足跡が二列に並び。



■糞 6cm

尾根道や竹藪、林内など決まった場所に糞をする(ため糞)。



### テン

■足跡 3.5×4.5cm

タヌキとキツネに似るも、指跡は5本で指先までくっきりと残る。



■糞 8cm

岩の上などにあることが多く、種子が含まれることが多い。



### アライグマ

■足跡 10×6cm

指跡は5本で、指の形が切れ目なくつく。かかとまで地面につくため、縦長の足跡となる。



■糞 10cm

道路沿いなど目立つところに多い。骨や羽、種子が含まれる。



### イノシシ

■足跡 7×5cm

つま先の跡(ひづめ)の跡に加え、かかとの副跡の跡も残る。



■糞 8cm

粒状の糞がつながっている。どんぐりや根など植物質が多く含まれる。



### ニホンジカ

■足跡 5×4cm

つま先の跡(ひづめ)の跡が残るが、かかとの副跡の跡は残らない。



■糞 1.5cm

けもの道でよく見られ、太鼓のような形をしている。

